

チャレンジ



重点目標

「自分で考え行動しよう」

ミッション

「対話と協働により、すべての児童の可能性を引き出し伸ばす」

2023 お世話になりました！

まもなく2学期85日が終了します。この間、宿泊活動（5年生）、遠足・修学旅行、小中音楽祭（5年生）、学習発表会、持久走記録会、創立150周年記念式典などの行事がありました。これらの行事を通して、子供たちがそれぞれの目標達成に向けて最後までがんばることができたのは、保護者の皆様のご理解とご協力によるものと思っております。ありがとうございました。また、PTA活動として、8月の奉仕作業、朝の立ち番指導に参加していただきありがとうございました。ご自分のお子さんが学校前交差点を通らないにも関わらず交通指導に参加してくださった皆様には、特に感謝申し上げます。これからも利他の心でご協力をお願いします。



友達のために！

交通指導を行っていたとき、道路に落ちていた手袋を拾い私に届けてくれた一年生がいました。また、友達のために教室のごみを拾ったり、廊下に落ちているジャンパーをフックにかけたりする児童の姿をたくさん見ることができ、心が温かくなりました。「一日ひとつみんなのために」については、1学期や2学期の始業式で話をしてきたことです。このような行いを本校の児童337人が一日一回行えば、337回、1年間だと123,005回、思いやりにあふれた温かい学校になります。11月の本校のいじめの件数は、残念ながら16件ありました。相手のことを考えて行動できる児童を育て、いじめを撲滅するためにも、「一日ひとつみんなのために」を呼びかけ、称賛していきたいと思えます。

読書のすすめ！

子どもたちは、冬休みに読む本を図書室から借りています。三冊まで借りることができます。全国学力学習状況調査の児童質問紙の結果からも本校の児童は読書時間が少ないことが分かっています。また、全国学力学習状況調査の問題を解くときに言葉の意味が分からなかったり、問題文が長文のため途中であきらめたりする子どももいます。この冬休みには、親子で読書の時間を確保してはどうでしょうか。子どもの財産として一生使える読解力を高めましょう。4月から12月までに、225冊の本を読んだ子どももいます。

